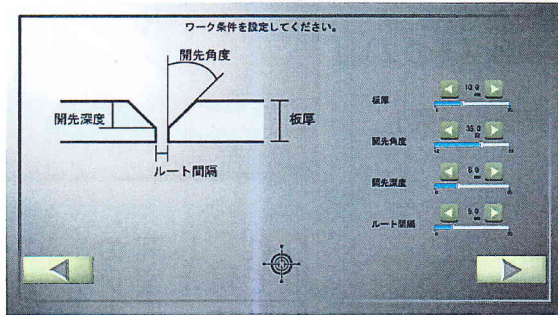
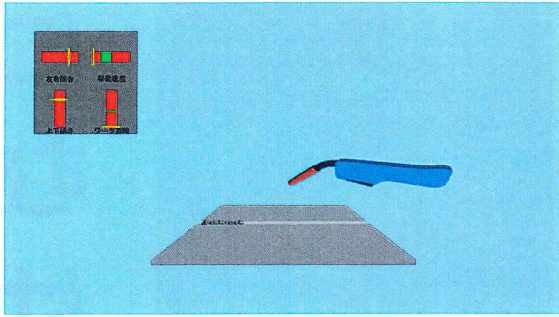


# 3D 溶接シミュレータ



10月にシミュレータの実機が船舶工学コースの研究室に設置されました。後期より『プロジェクト』の講義等に、このシミュレータを用いて溶接技術の向上に関する研究を進めている予定です。

「ながさき海洋・環境産業雇用創造プロジェクト」にて長崎県と共同研究中の溶接シミュレータが、いよいよ稼働します！  
この造船所の熟練作業者の技能を継承する匠の技シミュレータシステムの開発では、溶接、鋼板の曲げ加工、塗装の3大造船技術に着目し、ICTを活用した訓練システムの開発を平成27年度末までに実施する予定です。



# 工場実習の夏！

この夏、3年生は工場実習に赴き、実際の造船所において如何に船舶が建造されているのかを体得する学習を行いました。  
13人の3年生が、地元長崎をはじめ九州や瀬戸内地方の造船所にて、およそ10日間の実習を行いました。卒業後の進路決定にも大いに役立つ体験になったと思います。

Vol.2

発行年月日  
2014年  
9月10日

発行人  
松岡 和彦

長崎総合科学大学  
工学部工学科  
船舶工学コース



## 船舶工学コースからのお知らせ

平成26年10月6日(月) 13:30~17:00

## 第63回造船システム研究会

長崎ワシントンホテルにて開催！  
詳細と参加の申し込みは

⇒ [ss\\_kanji@yahoo.co.jp](mailto:ss_kanji@yahoo.co.jp)

ホームページも見てね!! ⇒ <http://www.ship.nias.ac.jp/>





## 溶接シミュレータ 概要

**ながさき海洋・環境産業雇用創造プロジェクト**

○事業趣旨・目的  
高付加価値船・省エネ船の受注拡大や海洋関連産業の拠点形成により、グローバル競争下で勝ち抜く地域産業構造へと発展する。特区指定の下、優れた環境技術により成長する次世代造船と海洋産業に対応する人材育成と雇用創造策を講じ、地域に安定的で良質な雇用を創造していく。

「ながさき海洋・環境産業拠点特区」(規制緩和、税制、財政の特例)で目指す目標

(1) 海洋における地球温暖化対策 船舶のCO2排出削減対策  
(2) 海洋環境の保全対策 パラソク管理条約の発効を見越した取組  
(3) 海洋エネルギーの活用化 造船業の技術力を活かした海洋エネルギーの導入

**1 造船業の振興**

1. 高付加価値造船体制の構築  
2. 更なる効率化・高性能化への対応  
3. 中小造船企業の設計力向上

**2 海洋・環境エネルギー分野の振興**

1. 海洋産業クラスター形成促進  
○クラスター形成を目標としたエグゼクティブの配置  
○民間委託等専業化体制の構築  
○新分野展開のための人材育成

**3 共通基盤の強化**

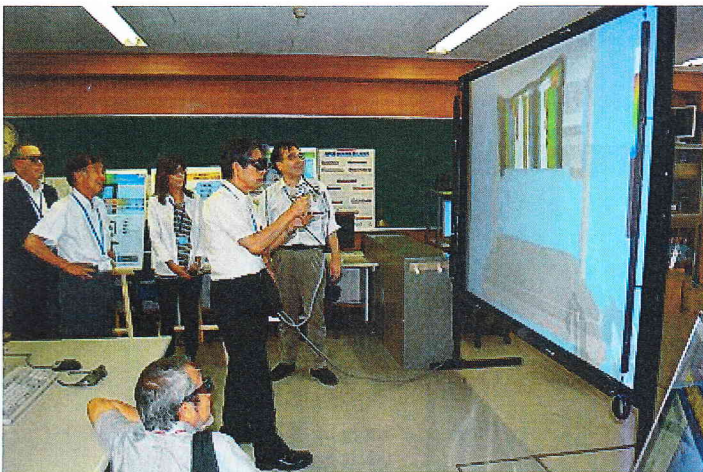
1. 共通基盤強化・支援  
○国際化への対応  
○施設の継承  
○コスト競争力や収益力向上

2. 事業全般を通じたコーディネート  
○事業統括者、人材育成コーディネータの配置

# 長崎県と造船人材育成 プロジェクトが進行中!

NIAS  
**船舶ニュース**

船舶工学コースでは、長崎県の「ながさき海洋・環境産業雇用創造プロジェクト」に協力し、長崎県の製造業に従事する技術者の人材育成を行っています。特に次世代の若手技術者の技術基盤を強化するため、「設計技術者の継承」と「熟練者技術者のための組込み開発」に取り組んでいます。匠の技シミュレータ、システム開発では、溶接の鋼板の曲げ加工、塗装の3大造船技術に着目し、ICTを活用した訓練システムの開発を平成27年度末までに実施する予定です。



## テクノラボツアーにて公開

長崎「新生」産学官金連携コンソーシアム主催による「テクノラボツアー」が、約70名の参加のもと8月7日に本学にて開催されました。

当日は研究シーズ発表と本学の実験施設、研究設備の見学があり、船舶工学コースでは「ながさき海洋・環境産業雇用創造プロジェクト」にて開発中の塗装シミュレータを公開しました。

### 船舶工学コースからのお知らせ

OPEN CAMPUS 2014 : 平成26年8月31日(日)

## 第3回オープンキャンパス

長崎総合科学大学グリーンヒルキャンパス  
詳細と参加の申し込みは

⇒ <http://www.nias.ac.jp/opencampus/>

Vol.1

発行年月日  
2014年  
8月25日

発行人  
松岡 和彦

